

School Library

令和7年1月28日発行

担当：図書委員会1年生

1月号

新年を迎え3学期がスタートしました。まだ寒いですがだんだんと春に近づいています。

ところで皆さんは「日本の伝統」と聞いて何を思い浮かべますか？

歌舞伎、茶道、書道…日本の伝統はこれ以外にもたくさんあります。こんな寒い時期だからこそ図書館へきて「日本の伝統」について調べたり、自分の好きな本を読んだり、たくさん本に触れてみてください。

是非、今年は図書館へきて本に触れる機会を増やす一年にしてください。

(担当：1-)



👑 たて割り対抗シール獲得戦

1/20～24 まで開催した“たて割り対抗シール獲得戦”にご参加ありがとうございました。

只今集計しています。

たて割り優勝クラス・個人賞ともに

2/3以降結果発表する予定です。

発表まで少しお待ちください。

👑 すきなみ本の帯アイデア賞入選しました

2学期に1年生が国語の授業で取り組んだ、お気に入りの本を紹介する「本の帯」を、“すきなみ本の帯アイデア賞”に出品したところ、応募数647点の中から、入選作品20点に東原中より2名選ばれました。

本の帯コピー賞 1年 さん

アイデア賞 1年 さん

おめでとうございます。

入賞作品は1/23～1/31の間、杉並区立中央図書館に飾られています。



私と読書先生



星新一著
新潮社 913 ぽ



村上春樹著
新潮社 B913 お



村上春樹著
講談社 B913 む

読書が習慣になったきっかけは、中学生の時の友達だったと思います。休み時間に本を読んでいる姿が、凛としてカッコよく憧れました。その友達の影響もあって、最初にはまったのが、星新一のショートショートです。「エヌ氏の遊園地」など片端から読んでいきました。アイデアとユーモアに満ちた短編集でちょっと不思議な世界ですが、引き込まれます。気軽に読書を始めてみたい人におすすめです。

今では SF からミステリー、純文学などジャンルを問わずいろいろな本を読みますが、高校生から大学生にかけてはまり、今でも最新刊を必ずチェックするのは村上春樹です。「ノルウェイの森」や「海辺のカフカ」が有名で「羊をめぐる冒険」は何度も読み返しています。文章は平易でどんどん読み進められますが、ストーリーは少し難解で、どんな風に理解すればいいのかわからない場面に遭遇します。比喩表現のひとつである隠喩（暗喩）が用いられていて、想像力を掻き立てる文章が特徴です。「羊をめぐる冒険」に「彼は一人息子の写真でも見せるようににっこりと微笑みながら」という表現があります。表情をイメージさせるための比喩で、その比喩によって、表情の裏にある心理を描写していますが、あなたならこの文章からどんな心理をイメージしますか。ぜひ作品をチェックし、前後の文章から想像してみてください。

(担当：1-)

中学校のときはあまり図書館に通う習慣がなかった印象です。みんなと同じように朝読書の時間に読んでいたくらいです。その代わり、高校・大学は電車通りで、通学時間でたくさん本を読む機会を作ることができました。特に大学生のころは、たくさん時間があったので多くの本を読むことができました。アメリカに留学をしていた時も、向こうの大学の図書館に、日本の有名な小説が多く取り揃えられていたので、ホームステイ先で日本の小説を読むことができました。

今でも時間があると本屋さんに必ずと言っていいほど立ち寄ります。あまり幅広く読み漁るタイプではないので、好きな作家さんの本や、尊敬する人、好きな芸能人、友達から勧められた本を読んだりするといった感じです。そのため少し偏りはあるかもしれませんが、それでも多くの素敵な本に巡りあえたことは確かです。

今年度から東原中でも朝読書の時間ができたので、本を読む機会が増えました。最近読んで面白かった本は、岡部先生に特別に1番最初に貸出しをさせて頂いた「成瀬は天下を取りに行く」という小説です。ずっと読みたくて、SCHOOL LIBRARYで東原の図書館にも置いてあることを知り、速攻で借りに行きました。続編の「成瀬は信じた道をいく」も面白くてすぐ読み終わりました。

ぜひ、みなさんも興味があれば借りてみてください。

(担当：1-)



宮島奈緒著
新潮社 913 み



今更ですが1月になりましたね。1月というと、何を思い浮かべますか？例えば正月に食べるお餅だったり、お雑煮だったり、いろいろありますよね。僕は日本の伝統を思い浮かべます。正月だったり除夜の鐘などです。

ということで、今回は日本の伝統などが書かれている本を紹介します。その本は「日本の伝統文化 和食4」という本です。

名前の通り日本の伝統や和食がとってもわかりやすく紹介されています。

日本の伝統に興味がある方、和食が好きな方は借りてみてください！

(担当：1-)

江原純子監修
学研 383 に



世界に知られる日本の代表的演劇、歌舞伎・・・

歌舞伎とは、江戸時代に大成した日本の代表的な演劇です。

歌舞伎は動画的かつ、非常に華やかな衣装・舞台が特徴で、一般大衆向けの演劇として庶民の人気を集めました。現在では海外公演も積極的に行われ、日本の伝統芸能として世界に広まっています。

時間がある人はぜひ舞台上で歌舞伎を見てみてください。

(担当：1-)

小野幸恵著
岩崎書店 774 お



伝統的工芸品産業復興
協会ボクラ社 750 で

私が紹介する本は、財団法人・伝統的工芸品産業復興協会監修の「伝統工芸」です。この本は日本の伝統工芸品や、私たちの身近にある伝統工芸品などが書かれています。

また、全国47都道府県の伝統工芸品も書かれています。その作り方なども書かれているので、見ているだけでも楽しめます。この一冊でとても伝統工芸について知ることができるので、ぜひ読んでみてください。

(担当：1-)

